11 館山商圏 (準商業中心都市)

(1) 商圏の概要

表IV-11-1 館山商圏

			旧·市町	村区界					現・市町	村区界	
商圏		市町村		商圏人口	吸引人口			市町村		商圏人口	吸引人口
(基準吸引率)			市町村	(人)	(人)				市町村	(人)	(人)
			吸引率						吸引率		
第1次	計	9	80.5%	105,365	84,793	Ī	計	3	80.9%	104,029	84,120
(30%以上)		館山市	87.3%	50,294	43,907			館山市	87.3%	50,294	43,907
		旧·富浦町	84.9%	5,623	4,774			南房総市	76.9%	44,174	33,970
		旧·富山町	60.0%	5,778	3,467			鋸南町	65.3%	9,561	6,243
		旧·三芳村	89.5%	4,504	4,031						
		旧·白浜町	86.0%	5,770	4,962						
		旧·千倉町	75.0%	12,582	9,437						
		旧·丸山町	85.7%	5,663	4,853						
		旧·和田町	55.8%	5,590	3,119						
		鋸南町	65.3%	9,561	6,243						
第2次	計	0	-	-	_	Ē	計	0	_	-	-
(10~30%未満)											
第3次	計	1	5.2%	29,822	1,551	Ē	計	0	_	_	_
(5~10%未満)		旧·鴨川市	5.2%	29,822	1,551					_	
合 計		10	63.9%	135,187	86,344			3	80.9%	104,029	84,120

注1)吸引率=吸引人口÷商圈人口×100

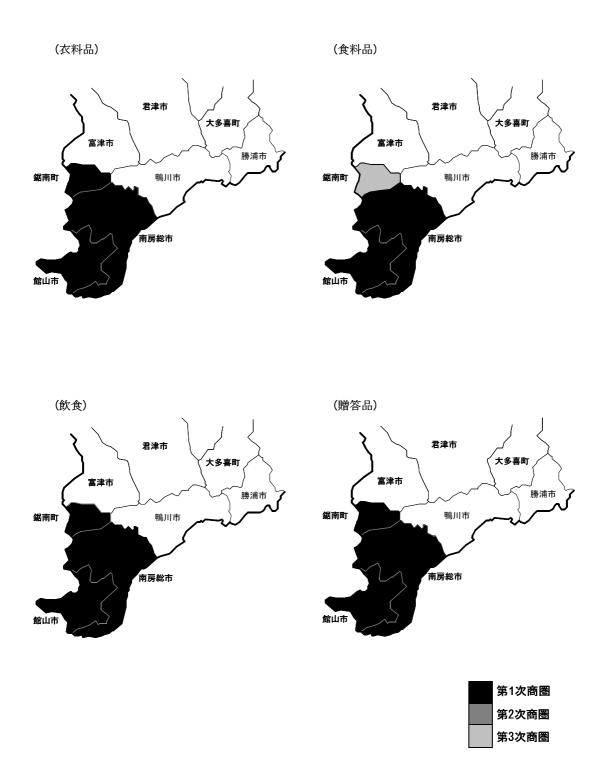
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

- ○館山商圏は安房ブロックに 2 市 1 町から形成され、商圏人口は約 10 万人(館山市人口の約 2.1 倍)、商圏からの吸引人口は約 8 万人(同約 167%)、商圏内吸引率は 80.9% となっている。
- ○第1次商圏は2市1町で吸引率の平均は80.9%となっており、第2次商圏・第3次 商圏に該当する市町村はない。

注2)各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

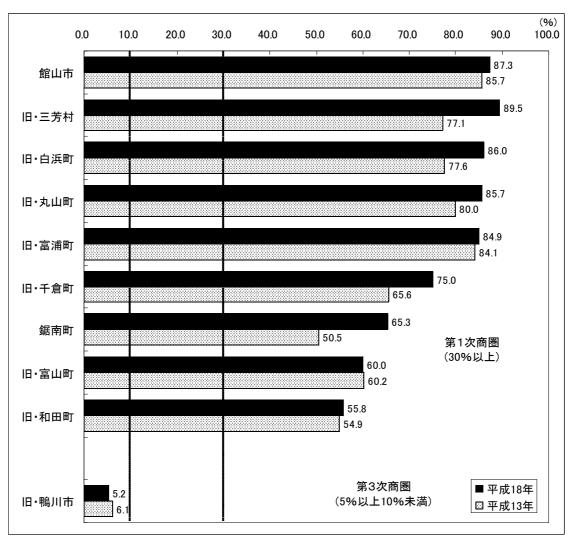
図IV-11-1 館山商圏(衣料品・食料品・飲食・贈答品)



(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

- ○商圏内市町村数
 - ・第1次商圏は前回調査時の1市7町1村から変化はない。
 - ・第2次商圏には前回調査時と同様、該当する市町村がない。
 - ・第3次商圏は前回調査時の1市から変化はない。
 - ・商圏全体でも前回調査時の10市町村(2市7町1村)から変化はない。
- ○商圏人口:前回調査時(138,121人)から減少して 135,187人となった。(前回比▲ 2.1%)
- ○商圏内吸引率:前回調査時(60.6%)から上昇して 63.9%となった。(前回比+ 3 ポイント)
- ○吸引人口: 商圏人口は減少したものの吸引率が上昇したことから、前回調査時 (83.749人)から増加して86.344人となった。(前回比+3.1%)
- ○吸引力:吸引人口が増加したことから、前回調査時(163.7%)から上昇して171.7%となった。(前回比+8ポイント)

図IV-11-2 館山市の吸引状況の変化(旧市町村区界)



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

- ○商圏内市町村数
 - ・第1次商圏は、旧市町村区界では1市7町1村であるが、新市町村区界では6町1村が合併により1市となったため、6減して2市1町となった。
 - ・第2次商圏には該当する市町村が存在しない。
 - ・第3次商圏は、旧市町村区界では1市であるが、新市町村区界ではその1市が圏外の他町と合併後(合併新市が)圏外へ出たため、該当する市町村が無くなった。
 - ・商圏全体では、旧市町村区界では 10 市町村 (2 市 7 町 1 村) であったが、新市町村区界では 7 減して 3 市町 (2 市 1 町) となった。前回調査時の 10 市町村 (2 市 7 町 1 村) との比較でも 7 減となった。

 \downarrow

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- ○商圏人口:現市町村区界での商圏人口は前回調査時(138,121人)から減少して 104,029人となった。(前回比▲ 24.7%)
- ○商圏内吸引率:前回(60.6%)から上昇して80.9%となった。(前回比+20ポイント)
- ○吸引人口: 商圏人口は減少したものの吸引率が上昇したことから、前回(83,749人) から微増して84,120人となった。(前回比+0.4%)
- ○吸引力:吸引人口が微増し、自市人口が減少(▲ 1.7%)したことから、前回(163.7%)から上昇して167.3%となった。(前回比+4ポイント)

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における館山商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ-11-2に示す。

表Ⅳ-11-2 館山商圏の市町村の変化(衣料品)

			表 $IV-1$	1 - 2	館	山商圏の市	町村の	変化(衣料品	古)			
			平成13年	Ē		平成18年	F(旧・市町村	寸区界)	7	☑成18年(現・	市町	村区界)
			市町村			市町村				市町村		
商圏 (基準吸引率)				平成18年			平成13年	市区界変化			- 3	平成13年
(本年次71千)				での変化			からの	による商圏				からの
							変化	からの移動				変化
第1次		計	9		計	9			計		3	
(30%以上)			館山市			館山市				館山市		
			旧·富浦町			旧·富浦町		○(南房総市)		南房総市	Z	7
			旧•富山町			旧·富山町		○(南房総市)		鋸南町		
			旧·三芳村			旧·三芳村		○(南房総市)				
			旧·白浜町			旧·白浜町		○(南房総市)				
			旧·千倉町			旧·千倉町		○(南房総市)				
			旧·丸山町			旧•丸山町		○(南房総市)				
			旧•和田町			旧•和田町		○(南房総市)				
			鋸南町			鋸南町						
第2次		計	0		計	0			計		0	
(10~30%未満)												
第3次		計	1		計	1			計		0	
(5~10%未満)			旧·鴨川市		*	旧·鴨川市		×(鴨川市)				
合 計			10			10				•	3	
火口 小亦ル (帝国)	-	N 17H4	OT TAFL DELAINE	11 40 40 70 70	1) 00 3							

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における商圏内市町村の具体的な変化

〇その他の品目の購入における館山商圏内の市町村の具体的な変化を表IV-11-3に示す。

表Ⅳ-11-3 館山商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

			平成1:	0年	-	P成18年(現・	#1	正特区 角 /
	商圏	<u> </u>	十八八 十町村)十	┨┝	市町村	HIL	47 行 区 タト)
	(基準吸引率)	l '	11 〒1 小月	平成18年	-	111m1 小月	٢	平成13年
	(本学次分平)							
				での変化	┚┖			からの変化
	T			ı	- 			
	第1次	計	5		計		1	
	(30%以上)	館山市				館山市		
		旧• 湟	浦町	○(南房総市)		南房総市		☆
		旧・三	芳村	○(南房総市)				
食		旧・白	浜町	○(南房総市)	1 1			
以以		旧•丸	.山町	○(南房総市)	11			
料	第2次	計	2		計		0	
品	(10~30%未満)	※ 旧·富		○(南房総市)	∃ I"			
	(10 00/0/[C][M])	※ 旧・千		○(南房総市)	11			
	第3次	計	/E F)	○ (田がかいロ)	計		1	
		P1	0			鋸南町		新規
	(5~10%未満)		-		- <u>**</u> -		$\overline{}$	机况
Щ_	合 計		7		┚╚		2	
	Lor			1	7 (37			
	第1次	計	9		計		3	
	(30%以上)	館山市				館山市		
		旧• 富	浦町	○(南房総市)		南房総市		☆
		旧• 富	山町	○(南房総市)	11	鋸南町		
		旧・三	芳村	○(南房総市)	11			
		旧・自		〇(南房総市)	11			
<i>^-</i>		旧・千		○(南房総市)	11			
飲		旧・丸		○(南房総市)	11			
食		旧・和		○(南房総市)	11			
		鋸南		〇(用)万松川)	11			
	第2次	計	41		計	l	0	
		ĦT	0		- FT		U	
	(10~30%未満)	31						
	第3次	計	1		計		0	
	(5~10%未満)	※ 旧・鴨		圏外へ	┛ ┡			
	合 計		10				3	
	第1次	計	9		計		3	
	(30%以上)	館山ī	†		7 I	館山市	T	
		旧·富	浦町	○(南房総市)	7 I	南房総市	T	☆
		旧·富		〇(南房総市)	11	鋸南町	1	
		旧・三		○(南房総市)	11		\neg	
		旧・自	浜町	○(南房総市)	11		\dashv	
1134		旧・千		〇(南房総市)	11	<u> </u>		
贈答		旧・丸		〇(南房総市)	11			
答		旧・和			+1	 	\dashv	
品				○(南房総市)	+1	<u> </u>	\dashv	
""		鋸南甲	11		41		_	
	teta - vil				┨┠┈	<u> </u>	_	
	第2次	計	0		計		0	
	(10~30%未満)				┙┕			
	第3次	計	0		計		0	
	(5~10%未満)				J L			
	合 計		9		1 [3	
	※印け変化(商圏)	つの別が知る	1 国月法日	が担本図)のも	- t- ±	m+++		

- ※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村
- ○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内
- △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下
- ×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

12 鴨川商圏 (準商業中心都市)

(1) 商圏の概要

表IV-12-1 鴨川商圏

			旧·市町	村区界	
商圏		市町村		商圏人口	吸引人口
(基準吸引率)			市町村	(人)	(人)
			吸引率		
第1次		計3	58.8%	58,840	34,608
(30%以上)		旧·鴨川市	75.1%	29,822	22,396
		旧·天津小湊町	77.2%	7,244	5,592
		勝浦市	30.4%	21,774	6,619
第2次	Ī	計 1	29.6%	5,590	1,655
(10~30%未満)		旧•和田町	29.6%	5,590	1,655
第3次	Ī	計1	7.1%	5,663	402
(5~10%未満)		旧·丸山町	7.1%	5,663	402
合 計		5	52.3%	70,093	36,665

現•市町村区界								
	市町村			商圏人口	吸引人口			
			市町村	(人)	(人)			
			吸引率					
計		2	59.1%	57,944	34,217			
	鴨川市		76.3%	36,170	27,598			
	勝浦市		30.4%	21,774	6,619			
計		0	1	-	-			
計		1	6.2%	44,174	2,739			
	南房総市		6.2%	44,174	2,739			
		3	36.2%	102,118	36,956			

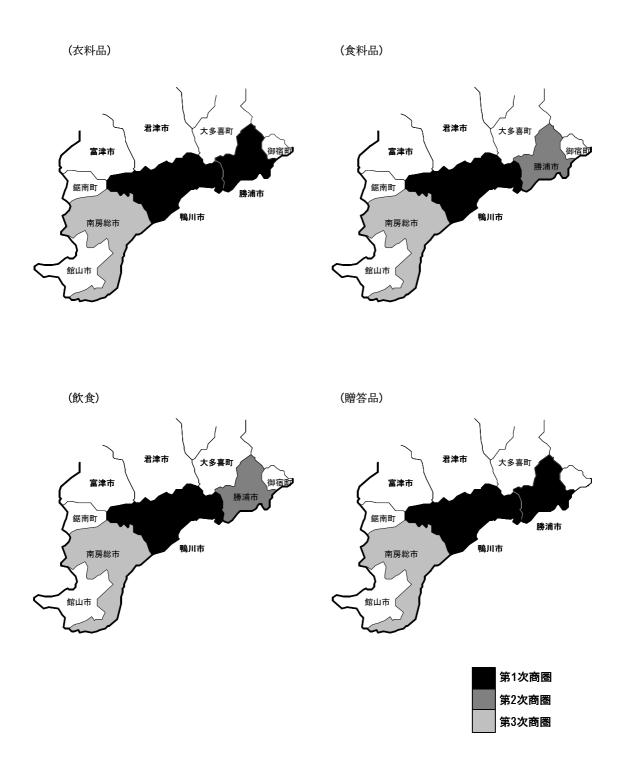
- 注2)各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)
- 注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

- ○鴨川商圏は、安房ブロックの北東部を中心に夷隅ブロックの南部を取り込んで、3 市から形成され、商圏人口は約 10 万人 (鴨川市人口の約 2.8 倍)、商圏からの吸引 人口は約 4 万人 (同約 102%)、商圏内吸引率は 36.2%となっている。
- ○第1次商圏は2市で吸引率の平均は59.1%、第2次商圏に該当する市町村はなく、 第3次商圏は1市で吸引率は6.2%となっている。

注1)吸引率=吸引人口÷商圈人口×100

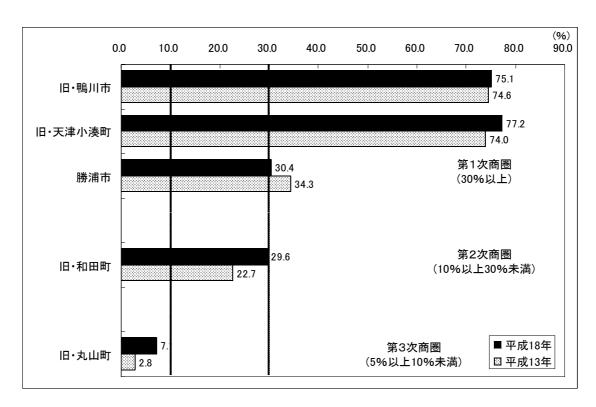
図IV-12-1 鴨川商圏(衣料品・食料品・飲食・贈答品)



(2) 旧市町村区界 (旧・鴨川市) での前回調査との比較

- ○商圏内市町村数
 - ・第1次商圏は前回調査時の2市1町から変化はない。
 - ・第2次商圏は前回調査時の1町から変化はない。
 - ・第3次商圏は、前回調査時は該当市町村は無かったが、新たに1町が入った。
 - ・商圏全体では、前回調査時の4市町(2市2町)が1増して5市町(2市3町) となった。
- ○商圏人口:前回調査時(66,236人)から増加して70,093人となった。(前回比+5.8%)
- ○商圏内吸引率:前回調査時(56.0%)から低下して 52.3%となった。(前回比▲ 4 ポイント)
- ○吸引人口: 商圏人口は増加したものの吸引率が低下したことから、前回調査時 (37,109人) から減少して 36,665人となった。(前回比▲ 1.2%)
- ○吸引力:吸引人口が減少したことから、前回調査時(124.3%)から低下して 122.9% となった。(前回比▲ 1 ポイント)

図IV-12-2 旧・鴨川市の吸引状況の変化(旧市町村区界)



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

- ○商圏内市町村数
 - ・第1次商圏は、旧市町村区界では2市1町であるが、新市町村区界では1市1町 が合併により1市となったため、1減して2市となった。
 - ・第2次商圏は、旧市町村区界では1町であるが、その1町が合併後(合併新市が) 第3次商圏に入ったため、該当する市町村はなくなった。
 - ・第3次商圏は、旧市町村区界では1町であり、その1町が合併後(合併新市が) 第3次商圏にとどまったため、数に変化はないが1市となった。
 - ・商圏全体では、旧市町村区界では5市町(2市3町)であったが、新市町村区界では2減して3市となった。前回調査時の4市町(2市2町)との比較では1減となった。

 \downarrow

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- ○商圏人口:現市町村区界での商圏人口は前回調査時(66,236人)から増加して102,118 人となった。(前回比+54.2%)
- ○商圏内吸引率:前回(56.0%)から低下して36.2%となった。(前回比▲20ポイント)
- ○吸引人口: 商圏人口は増加したものの吸引率が低下したことから、前回(37,109人) から微減で36.956人となった。(前回比▲ 0.4%)
- ○吸引力:吸引人口が減少し、自市人口が合併により増加(+21.1%)したことから、 前回(124.3%)より低下して102.2%となった。(前回比▲22ポイント)

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における鴨川商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ-12-2に示す。

表Ⅳ-12-2 鴨川商圏の市町村の変化(衣料品)

			平成13年(旧•	鳴川市)	Γ		平成18年	三(旧・市町村	7	平成18年(現・市町村区界)			
and an investigation of the contract of the co			市町村		Г		市町村				市町村		
商圏 (基準吸引率)				平成18年				平成13年	市区界変化			平成13年	
(21 %(3)11)				での変化				からの	による商圏			からの	
					L			変化	からの移動			変化	
第1次		盐	3		Ī	計	3			計		2	
(30%以上)			旧·鴨川市				旧·鴨川市		○(鴨川市)		鴨川市	☆	
			旧·天津小湊町				旧•天津小湊町		○(鴨川市)		勝浦市		
			勝浦市			Ţ	勝浦市						
第2次		計	1		Г	計	1			計		0	
(10~30%未満)			旧·和田町				旧•和田町		△(南房総市)				
第3次		計	0		Г	計	1			計	•	1	
(5~10%未満)						*[旧•丸山町	新規	○(南房総市)		南房総市	☆	
合 計			4				5				•	3	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における鴨川商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ-12-3 に示す。

表Ⅳ-12-3 鴨川商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

	商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・鴨川市) 市町村 平成18年 での変化	平成18年(現・市町村区界) 市町村 平成13年 からの変化
食料品	第1次 (30%以上) 第2次 (10~30%未満) 第3次 (5~10%未満) 合計	計 2 旧・鴨川市 ○(鴨川市) 旧・天津小湊町 ○(鴨川市) 計	計 1
飲食	第1次 (30%以上) 第2次 (10~30%未満) 第3次 (5~10%未満) 合計	計 2 旧・鴨川市 ○(鴨川市) 旧・天津小湊町 ○(鴨川市) 計 2 ※ 旧・和田町 △(南房総市) 勝浦市 1 計 0	計 1
贈答品	第1次 (30%以上) 第2次 (10~30%未満) 第3次 (5~10%未満) 合計	計 2 旧・鴨川市 ○(鴨川市) 日・ 天津小湊町 ○(鴨川市) 日・ 天津小湊町 ○(鴨川市) 計 2 ※ 旧・和田町 △(南房総市) ※ 勝浦市 第1次へ 計 0 4	計 2 鳴川市 ☆ 勝浦市 第2次から 計 0 計 1 南房総市 ☆ 3

[※]印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村 〇印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

[△]印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

[×]印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市